

## 行きたいところ

今、行きたいところはどこだろう。

日本の観光地巡りとなると、山へ行っても海に行っても、それほど感動するような景色もなく、食べ物も天ぷら、刺身という定番和食が出て来るような気がする。

では、海外旅行はどうか。歩いている人、食べ物、街の雰囲気が普段の生活と異なるので、それだけで非日常性を感じるはずだ。好奇心を持てば、ホ～と感心することが出て来る。景色だって、見慣れた日本の景色とは違って新鮮味があるはず。

では、海外旅行は、どこがいいか？

まずは、英語が通じるところが良い。自分は下手くそな英会話しかできないが、英語以外ではコミュニケーションが取れないのは困る。昔、メキシコからチリへのフライトで、英語のアナウンスなし、新聞も英字新聞なしという心細い経験をしたことがある。プラベートでは、そんな我慢をする必要もないだろう。

食べ物は、食材が奇抜だったり、味が辛すぎるようなところは避けたい。こう考えると、発展途上国は対象外になりそうだ（乱暴な切り捨てではあるが）。

では、先進国が良いのかというと、人混みは嫌いなので、都市部にはあまり行きたくない。

こうして考えてしまうと、候補地はどんどん減ってしまう。

とは言え、具体的な候補地を考えないと先に進まない。そうだなあ、ハワイあたりが良いいかもしれないと思いつく。

ハワイへ行ってキラウエア火山をみて、ロコモコでも食べて、それで何をする？

初めての土地の物見遊山で、それなりの面白さがあるだろう。

でも、是非ハワイへ行きたいという気持ちには、まだなっていない。

そう言えば、若い時は、新婚旅行でロマンチック街道を巡りたいという強い憧れがあった。事情があってその時は実現せず、そのまま今日に至っている。

では、ロマンチック街道へ是非行きたいかということ——そうでもない。

是非行きたいところが思いつかない。これはまずい。好奇心の衰えかもしれない。

適度な欲は、行動力の素である。

「行きたいところを探す」——これが自分の課題の1つだとわかった。